



**平成27年度 関東森林管理局
森林・林業技術交流発表会 予
告編**

赤谷森林ふれあい推進センター
(以下「赤谷センター」という。)では、今年度2つの発表を予定しています。概要は以下のとおりです。

①ニホンジカ誘引試験について

赤谷センターでは、昨年度の業務研究発表で、赤谷の森にニホンジカが侵入・繁殖していること、植生への摂食状況などから現在は低密度と考えられる一方で、今後、近い将来にニホンジカが増加し森林生態系への悪影響が心配され、地域や幅広い



試験地のヘイクューブ付近で撮影されたメスジカ



試験地の鉱塩付近で撮影されたメスジカ

関係者と連携しながら対策を検討している赤谷プロジェクトの活動について発表しました。

ニホンジカが低密度である時の個体数管理手法は、進入初期段階の場所と、個体数管理の実施によって高密度から低密度になった場所での管理手法として全国のケーススタディになると期待されます。

低密度下においては、ニホンジカが集まりやすいホットスポットを見つけ、ホットスポットに出没するニホンジカを確実に効率よく安全に捕獲することが求められます。

現在、赤谷センターでは、低密度下における個体数管理手法の確立に向けて、群馬県林業試験場の協力を得て、赤谷の森で捕獲を前提とした誘引試験に取り組んでおり、その成果を今年度の交流発表会へ発表することとしています。

②地域とつながる国有林

赤谷プロジェクトでは、国有林「赤谷の森」1万ヘクタールを舞台に、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」の取組を推進しています。これは、自然環境を損なうことなく多くの恵みを得ること、

「より持続力をもつ、人の社会」を作るための「人と自然との新しい関係」を見つけ出し、選択し、実践する取組です。

赤谷センターでは、この目標の達成に向けた取組の一つとして、森と里(人の活動の場)と人、そして人と人をつなげる取組を実施しています。

取組は、さまざまな組織や人と連携していますが、取組の関係者が増えるほど、アイデアやできることが



「森と里と人をつなげる」をテーマに、地域の観光協会が主催する「CoCoira」へのプログラム提供



赤谷プロジェクトによる企画「赤谷の森まつり」を町や地域などと連携して開催



地域のNPOが主催する「森のようちえん」へのプログラム提供

増え、また、地域と赤谷プロジェクト(国有林)がつながっていく、みんなが主役でそれぞれが順番を見つけて進められる取組となっています。その取組の内容や連携の実際などについて今年度の交流発表会で発表します。